

北海道ブランドになる「たらのめ」生産を目指す

山菜の王様とも呼ばれる「たらのめ」の国内の総生産量は152トン、そのうち約70%は人工栽培で生産されています*。北海道の生産量は0.5トン（都道府県別で23位）であり、人工栽培の振興を進めるためには、本道の気候に適した「品種」や、消費者へ北海道らしいイメージを認識させる話題性や信頼性を備えた北海道独自の「品種」が必要です。そこで、北海道ブランドとなる「たらのめ」生産用品種の育成と普及を目指した次の3つの内容で構成する研究に取り組んでいます。最初に産地を目指す地域周辺に自生しているタラノキから「トゲが無い個体」を選抜します（写真-1）。次に選抜個体をクローン増殖することで、選抜した地域（将来の産地）へ品種の普及と栽培化を図ります（写真-2）。現在、これに続くタラノキの栽培と「たらのめ」の生産（写真-3）を含めた一連の過程について、農協や企業などと連携して産地形成と技術の体系化を進めています。

*農林水産省「平成29年特用林産基礎資料」

（樹木利用G 錦織正智）

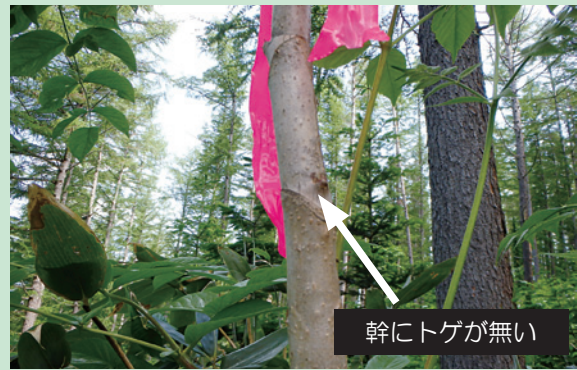


写真-1 「たらのめ」の産地を目指す地域周辺（左）でトゲが無い個体（品種の候補）を選抜（右）



写真-2 選抜個体をクローン増殖して（左）、「たらのめ」産地に普及させる品種を育成（右）



写真-3 タラノキを栽培して（左）、「たらのめ」を生産（右）

林業試験場 本 場 TEL 0126-63-4164 FAX 0126-63-4166
道南支場 TEL 0138-47-1024 FAX 0138-47-1024
道東支場 TEL 0156-64-5434 FAX 0156-64-5434
道北支場 TEL 01656-7-2164 FAX 01656-7-2164
ホームページ <http://www.hro.or.jp/fri.html>

発行年月 令和元年9月
発 行 地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
森林研究本部 林業試験場
〒079-0198 美幌市光珠内町東山